平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月24日

上場会社名　パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4283　　URL　http://is-c.panasonic.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）前川　一博
問合せ先責任者（役職名）取締役経理部長　（氏名）吉川　達夫　TEL 06-6906-2801
四半期報告書提出予定日　平成25年11月7日　配当支払開始予定日　平成25年11月29日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,062	1.2	2,520	24.6	2,529	24.4	1,554	25.9
25年3月期第2四半期	16,864	△7.4	2,023	1.3	2,033	0.2	1,234	3.9

（注）包括利益　26年3月期第2四半期　1,602百万円　（34.3%）　25年3月期第2四半期　1,193百万円　（4.1%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	145.89	—
25年3月期第2四半期	115.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	30,833	26,094	84.6	2,448.89
25年3月期	31,355	24,838	79.2	2,330.98

（参考）自己資本　26年3月期第2四半期　26,094百万円　25年3月期　24,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	32.50	—	32.50	65.00
26年3月期	—	32.50			
26年3月期（予想）			—	32.50	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想（平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	2.3	4,450	0.6	4,450	0.9	2,720	0.7	255.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	10,656,000 株	25年3月期	10,656,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	372 株	25年3月期	372 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	10,655,628 株	25年3月期2Q	10,655,662 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来の業績に関する見通しならびに計画、戦略、目標などは、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいております。予想に内在する不確定要因やこの後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績は見通しと異なる場合があります。
業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.5「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.　当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
2.　サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6
3.　四半期連結財務諸表 …… 7
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 11
(継続企業の前提に関する注記)……11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)……11
(セグメント情報等)……11
(追加情報)……11
4.　補足情報 …… 12
(1) 受注残高 …… 12
(2) 販売実績 …… 12

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。
・平成25年10月24日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

※上記説明会のほかにも、当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年9月30日）におけるわが国経済は、日銀による大規模な金融緩和など新政権下における経済対策への期待感から円安・株高が進行、景気回復に向けた兆しが見え始めました。一方、景況感の改善を背景に、国内企業の設備投資は復調に転じつつありますが、IT投資の抑制が解けきるには至っておらず、情報サービス産業の成長は横ばいで推移いたしました。

このような事業環境のなかで当社グループは、平成25年度を初年度とする中期経営計画を策定、「一般市場でのビジネス強化」「パナソニックグループとのパートナーシップ強化」「新市場拡大と高収益体質の両立」の3テーマに取り組んでおります。

①当第2四半期連結累計期間における当社グループの経営成績

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		比較増減（%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	
売　上　高	16,864	100.0	17,062	100.0	1.2
営業利益	2,023	12.0	2,520	14.8	24.6
経常利益	2,033	12.1	2,529	14.8	24.4
四半期　純利益	1,234	7.3	1,554	9.1	25.9

当第2四半期連結累計期間におきましては、中期経営計画達成に向け、一般市場のお客さまへの拡販と、パナソニックグループにおけるパートナーシップ構築・強化に取り組みました。また、コスト抑制や業務効率化など、経営体質の改善についても継続的に推進いたしました。

その結果、売上高は、一般市場のお客さまからのクラウドサービス受注拡大やパナソニックグループにおける成長戦略案件のサービスインなどにより増収となりました。利益につきましても、システムサービスにおける増販や、合理化の促進などにより、大幅な増益となりました。

②当第2四半期連結累計期間における取り扱い品目別の状況

	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		売上高比較増減（%）	売上高総利益率ポイント差異
	売上高（百万円）	売上高総利益率（%）	売上高（百万円）	売上高総利益率（%）		
a. システムサービス	10,870	23.1	11,169	25.2	2.7	2.1
b. システムソリューション	5,994	16.6	5,893	19.1	△1.7	2.5
合　　計	16,864	20.8	17,062	23.1	1.2	2.3

※平成26年3月期第1四半期連結会計期間より、取り扱い品目の表記を変更いたしました。詳細はP. 11「追加情報」をご参照ください。

a. システムサービス

売上高は111億6千9百万円（前年同期比2.7%増）、売上高総利益率は25.2%（前年同期は23.1%）となりました。

既存顧客に対するサービス提供価格の下落はあったものの、一般市場向けのクラウドサービス、パナソニックグループ向けの新規システム運用・保守案件が増加したことにより、全体の売上高は前年同期を上回りました。

売上高総利益率につきましては、システム運用管理の徹底した効率化による原価改善の結果、前年同期を上回りました。

b. システムソリューション

売上高は58億9千3百万円（前年同期比1.7%減）、売上高総利益率は19.1%（前年同期は16.6%）となりました。

当第2四半期連結累計期間は、一般市場における主なシステム構築案件として製造業向けERPシステム、文教向けシンクライアントシステムなどに取り組みました。また、パナソニックグループにおいては、昨年来構築に取り組んできたシステムがサービスインしました。一方、サーバ等機器販売が減少したことから、売上高は前年同期を下回りました。

売上高総利益率につきましては、原価改善などにより前年同期を上回りました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べ5億2千1百万円減少し（前期末比1.7％減）、308億3千3百万円となりました。

a.流動資産

パナソニック株式会社などへの預け金を16億6千万円積み増したこと、開発案件進捗に伴い工事未収入金が6億2千4百万円増加したことに対して、期末月の売上減少により受取手形及び売掛金が24億9千2百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ1億7千8百万円減少し（前期末比0.7％減）、255億5千1百万円となりました。

b.固定資産

ハードウェアを中心に償却がすすみ、有形固定資産が3億3千7百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ3億4千2百万円減少し（前期末比6.1％減）、52億8千2百万円となりました。

c.流動負債

年度末の仕入債務・設備買入債務が決済されるなど、支払手形及び買掛金が6億9千1百万円、未払金が6億5千7百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ17億4百万円減少し（前期末比27.1％減）、45億9千万円となりました。

d.固定負債

リース債務の返済が進捗したことなどから、前連結会計年度末に比べ7千2百万円減少し（前期末比32.8％減）、1億4千8百万円となりました。

e.純資産

四半期純利益を15億5千4百万円計上したのに対して、前期末配当金3億4千6百万円の支払を行ったことなどから、前連結会計年度末に比べ12億5千6百万円増加し（前期末比5.1％増）、260億9千4百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は49億7千3百万円となり、前第2四半期末に比べ4億1千3百万円減少いたしました。

a.営業活動によるキャッシュ・フロー

24億1千6百万円の収入（前年同期比3億1千万円の収入減）となりました。

主な内容は、税金等調整前四半期純利益25億2千9百万円、減価償却費9億6千万円、売上債権の減少18億6千8百万円、その他流動負債の減少10億6千9百万円、法人税等の支払額9億1千8百万円であります。

b.投資活動によるキャッシュ・フロー

24億9千7百万円の支出（前年同期比84億3千9百万円の支出減）となりました。

主な内容は、パナソニック株式会社への預け金の預入支出20億円（払戻収入との純額）、有形固定資産の取得による支出3億5千5百万円であります。

c.財務活動によるキャッシュ・フロー

4億4千5百万円の支出（前年同期比2千8百万円の支出減）となりました。

内容は、配当金の支払3億4千5百万円、ファイナンス・リース債務の返済9千9百万円であります。

d.フリーキャッシュ・フロー

上記営業活動及び投資活動の結果、8千万円の支出（前年同期は82億8百万円の支出）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成25年4月23日の発表から変更はありません。

見通しに関するリスク情報

業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。
その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。リスク、不確実性及びその他の要因は、当社の有価証券報告書にも記載されておりますので、ご参照ください。

・ 日本市場の経済状況及び製品・サービスに対する需要の急激な変動
・ 産業界の需要動向
・ 原材料等の供給不足・供給価格の高騰
・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
・ 当社グループが他企業と提携・協調する事業の動向
・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
・ 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
・ 保有する投資有価証券等の資産の時価や繰延税金資産等の資産の評価、その他会計上の方針の変更
・ 地震等自然災害の発生、その他の事業活動に混乱を与えうる可能性のある要素

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	268	83
受取手形及び売掛金	6,750	4,257
工事未収入金	831	1,455
たな卸資産	382	489
繰延税金資産	498	405
預け金	16,236	17,896
その他	761	963
流動資産合計	25,730	25,551
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	651	630
工具、器具及び備品（純額）	2,194	1,994
リース資産（純額）	317	259
建設仮勘定	142	83
有形固定資産合計	3,305	2,968
無形固定資産		
ソフトウエア	435	303
その他	78	138
無形固定資産合計	514	442
投資その他の資産		
投資有価証券	231	308
繰延税金資産	42	51
前払年金費用	679	648
その他	852	863
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,805	1,872
固定資産合計	5,624	5,282
資産合計	31,355	30,833

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,253	1,561
未払法人税等	947	949
未払金	1,658	1,001
未払費用	163	190
未払消費税等	258	17
預り金	17	13
賞与引当金	670	495
役員賞与引当金	24	7
その他	301	351
流動負債合計	6,295	4,590
固定負債		
退職給付引当金	10	12
長期預り金	35	34
リース債務	175	102
固定負債合計	221	148
負債合計	6,517	4,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040	1,040
資本剰余金	870	870
利益剰余金	22,900	24,108
自己株式	△0	△0
株主資本合計	24,810	26,018
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	75
その他の包括利益累計額合計	27	75
純資産合計	24,838	26,094
負債純資産合計	31,355	30,833

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
売上高	16,864	17,062
システムサービス売上高	10,870	11,169
システムソリューション売上高	5,994	5,893
売上原価	13,358	13,116
システムサービス売上原価	8,359	8,349
システムソリューション売上原価	4,999	4,767
売上総利益	3,505	3,945
販売費及び一般管理費	1,482	1,424
営業利益	2,023	2,520
営業外収益		
受取利息	14	17
受取配当金	3	3
その他	2	0
営業外収益合計	20	22
営業外費用		
支払利息	7	4
固定資産廃却損	1	3
為替差損	－	4
その他	0	0
営業外費用合計	9	13
経常利益	2,033	2,529
税金等調整前四半期純利益	2,033	2,529
法人税、住民税及び事業税	864	920
法人税等調整額	△65	54
法人税等合計	798	974
少数株主損益調整前四半期純利益	1,234	1,554
四半期純利益	1,234	1,554
少数株主損益調整前四半期純利益	1,234	1,554
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41	48
その他の包括利益合計	△41	48
四半期包括利益	1,193	1,602
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193	1,602
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,033	2,529
減価償却費	849	960
固定資産廃却損	1	3
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	0
受取利息及び受取配当金	△17	△21
支払利息	7	4
売上債権の増減額（△は増加）	1,040	1,868
たな卸資産の増減額（△は増加）	△55	△106
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△138	△201
前払年金費用の増減額（△は増加）	83	30
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1	1
仕入債務の増減額（△は減少）	△263	△691
その他の流動負債の増減額（△は減少）	121	△1,069
その他の固定負債の増減額（△は減少）	△1	△0
その他	65	10
小計	3,729	3,318
利息及び配当金の受取額	6	21
利息の支払額	△7	△4
法人税等の支払額	△1,000	△918
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,727	2,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の預入による支出	△10,100	△2,000
有形固定資産の取得による支出	△739	△355
ソフトウエアの取得による支出	△100	△120
有形固定資産の売却による収入	2	－
その他	1	△21
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,936	△2,497
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△126	△99
配当金の支払額	△346	△345
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△473	△445
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△8,682	△525
現金及び現金同等物の期首残高	14,069	5,499
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,387	4,973

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループの事業は、情報サービス事業ならびにこれらの付帯業務の単一事業であります。したがいまして、開示対象となるセグメントはありませんので、記載を省略しております。

（追加情報）

（表示方法の変更）

従来、売上高・売上原価は「システムサービス売上高（売上原価）」、「システムソリューション売上高（売上原価）」、「システム機器・通信機器関連売上高（売上原価）」の3区分での表示としていました。しかし、システムソリューションとシステム機器・通信機器関連につきましては、相互に結びつきが強く一体として提供されるケースが多いこと、また、近年政策的に機器単体の販売にはウェイトを置いていないことなどに鑑み、より実態に近い区分表示を目的として、第1四半期連結会計期間より従来の「システムソリューション売上高（売上原価）」と「システム機器・通信機器関連売上高（売上原価）」を合算して「システムソリューション売上高（売上原価）」として表示いたします。これによって売上高・売上原価は、「システムサービス売上高（売上原価）」、「システムソリューション売上高（売上原価）」の2区分での表示としております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益及び包括利益計算書において、「システムソリューション売上高（売上原価）」、「システム機器・通信機器関連売上高（売上原価）」としてそれぞれ表示していた3,318百万円（2,747百万円）、2,676百万円（2,252百万円）は、「システムソリューション売上高（売上原価）」5,994百万円（4,999百万円）として組み替えております。

４．補足情報

（１）受注残高

	前連結会計年度末 （百万円）	当第2四半期 連結会計期間末 （百万円）	比較増減 （%）
システムサービス	629	700	11.2
システムソリューション	1,967	2,957	50.3
合　　計	2,597	3,657	40.8

（注）1.　上記金額には、消費税等は含まれておりません。
2.　平成26年3月期第1四半期連結会計期間より、取り扱い品目の表記を変更いたしました。詳細はP.11「追加情報」をご参照ください。

（２）販売実績

	前第2四半期 連結累計期間		当第2四半期 連結累計期間		売上高 比較増減 （%）
	売上高 （百万円）	構成比 （%）	売上高 （百万円）	構成比 （%）	
パナソニックグループ	13,563	80.4	13,721	80.4	1.2
一　般　市　場	3,300	19.6	3,340	19.6	1.2
合　　計	16,864	100.0	17,062	100.0	1.2

（注）上記金額には、消費税等は含まれておりません。